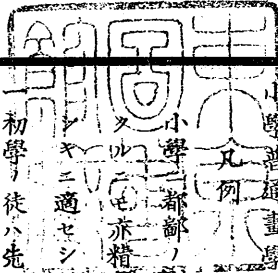


B 22

2689





小學二部無キコト能ハス故ニ畫法ヲ授
タルニモ亦精麗ヲ異ニス子弟ヲシテ各其ノ宜
キニ適セシメンコトヲ欲スレハナリ

初學ノ徒ハ先ツ縱橫斜弧ノ線ヲ描クニ練熟シ
必シモ規矩ヲ用ヰズシテ運筆ノ自在ナルニ至

要スベシ



輪廓ヲ表シ區分點ハ其ノ距離ヲ示

法ニ於キテ最肝要ナル者トセリ

法ハコレヲ各圖ノ傍ニ示スヲ以テ

茲ニ論ゼズ其ノ條ニ就キテ熟考スベシ

一此ノ編ハ畫學ノ階梯タリ故ニ其ノ示ス所ハ運

筆ニ練熟スルト物品ノ形狀及輪廓結構ヲ詳ニ

シ線ノ細大ニ因リテ陰影ノ列ヲナスコトヲ知

ルニ止マレリ夫ノ精密ノ法ノ如キハ編ヲ次キ

テ中學ノ部ニ至ルヲ待ツベシ

明治十一年六月

宮本三平識

目錄

第一業

第一二三四圖ハ縱橫斜線ノ起筆及區分點ノ式

第五六七圖ハ直線ヨリ成レル單圖

第二業

第一二三圖ハ弧線圓形橢圓卵形渦線圓柱圓錐
等ヲ描ク法及弧線ヨリ成レル單圖

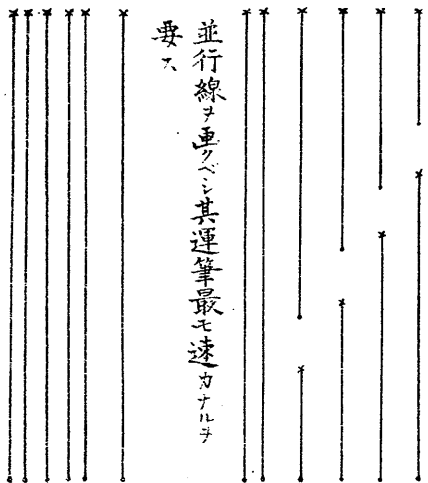
第四圖ハ直線及弧線ヨリ成レル單圖

小學普通畫學本 甲之部 第一

第一業

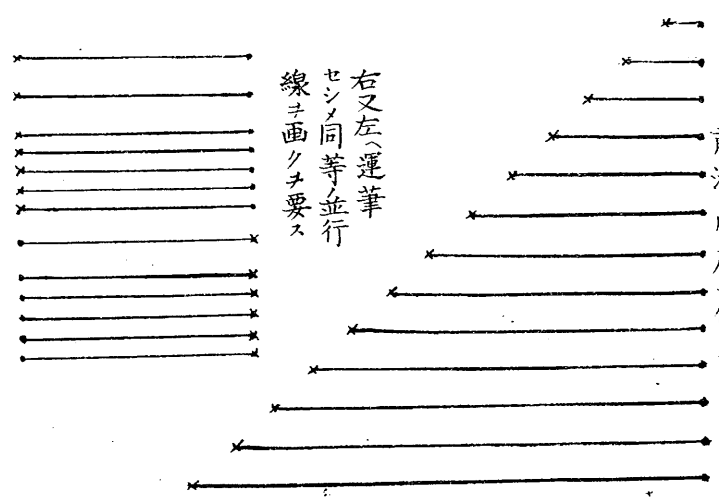
石盤或ハ黑板ニ白墨ヲ以テ如此
二點ヲ記シ之ヲ目的トナシテ二點ノ間ニ
線ヲ達シ連結セシム最モ短線ヨリ漸々
長線ニ進ミ直線ヲ画ク事ヲ習熟セシム
ベシ × 起筆ノ印

第一圖



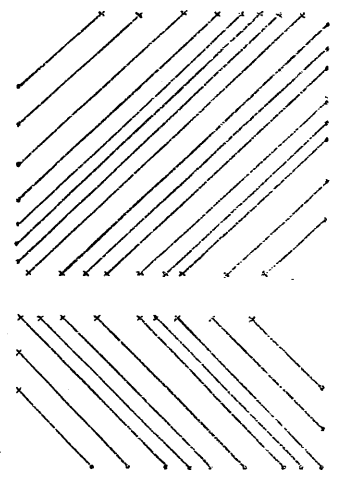
並行線ヲ画クベシ其運筆最モ速カナルヲ
要ス

第二圖
前法ノ順序ニ倣フニシ



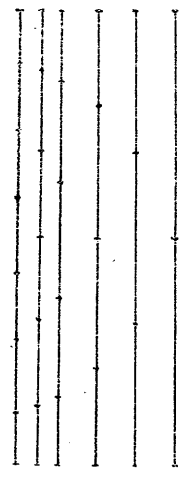
右又左(運筆)
セシノ同等並行
線ヲ画クヲ要ス

第三圖

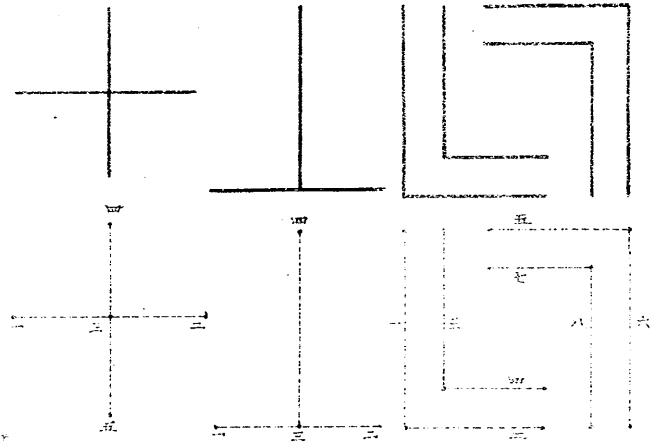


第四圖

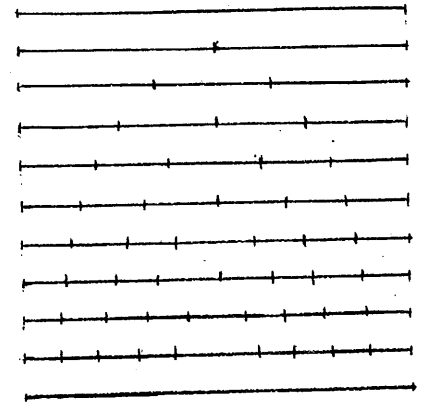
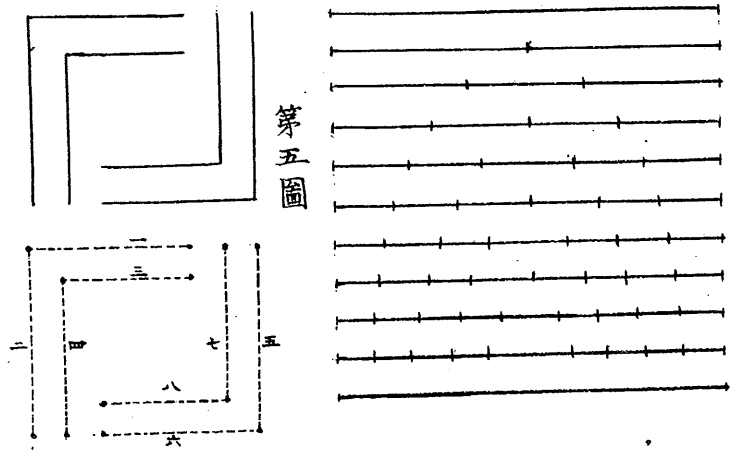
區分點ノ距離ハ少シモ不同ナキヤウ注意スニ
シテ圖學ニ於テ欽クヘカテサル最モ必要ノ點ナ
レバナリ

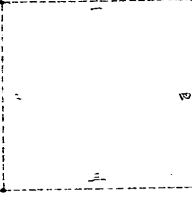
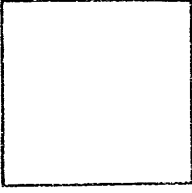
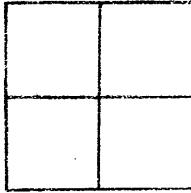
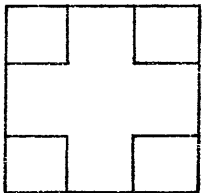


第六圖

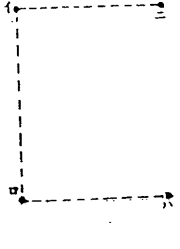
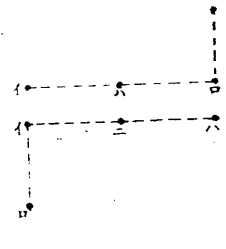
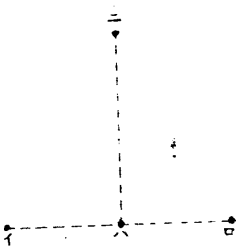
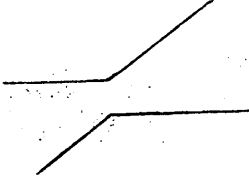
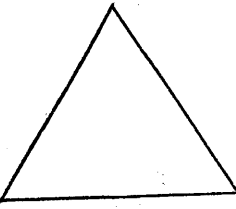


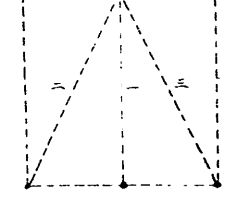
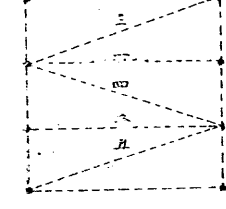
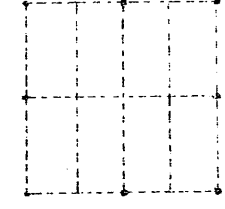
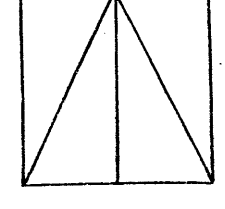
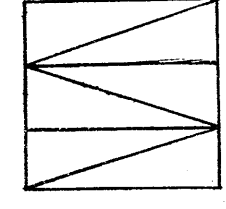
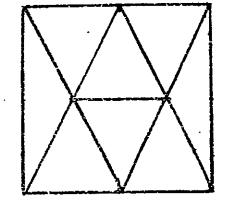
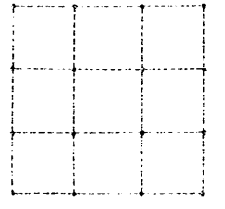
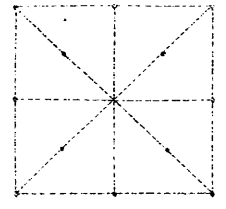
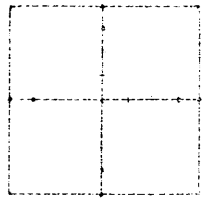
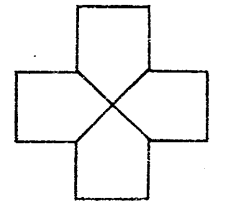
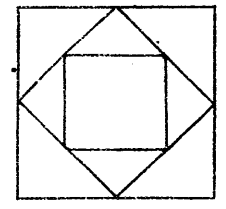
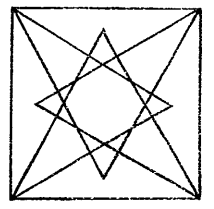
第五圖

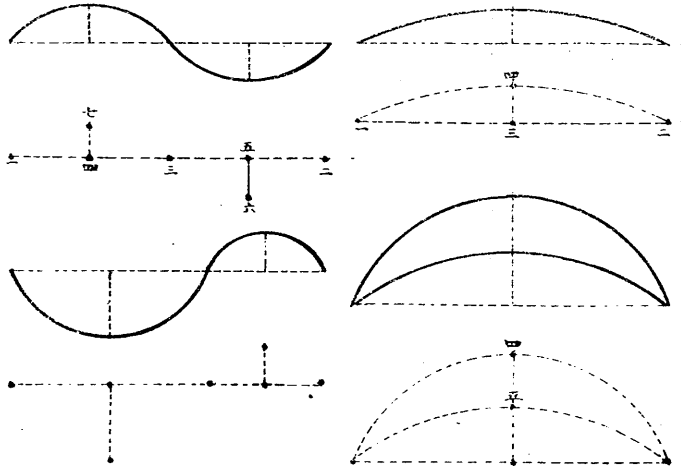




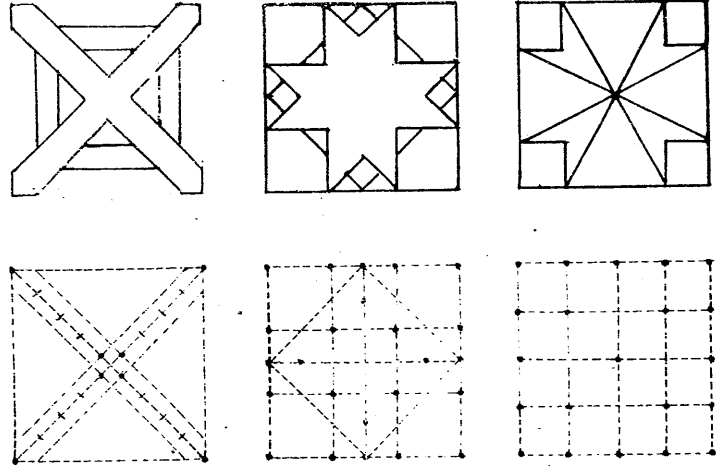
第七圖

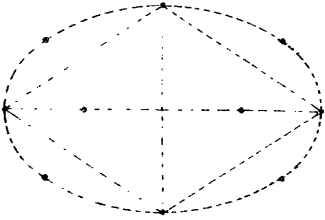
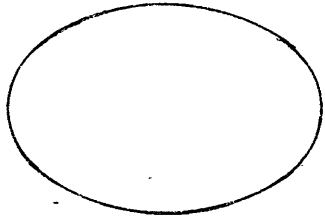




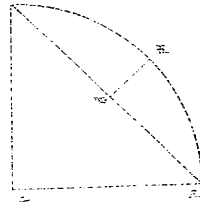
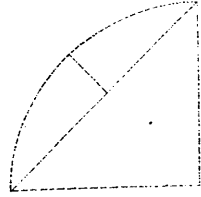
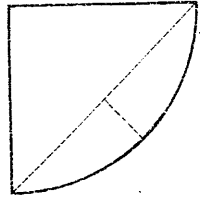
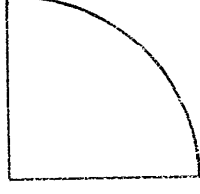
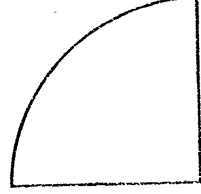
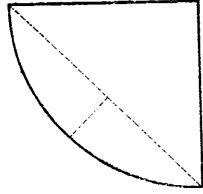
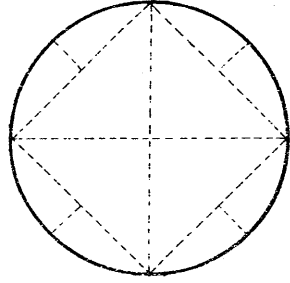


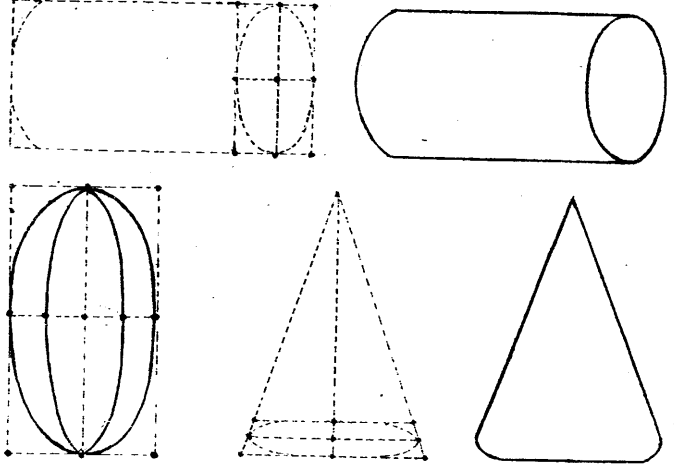
第二業
第一圖



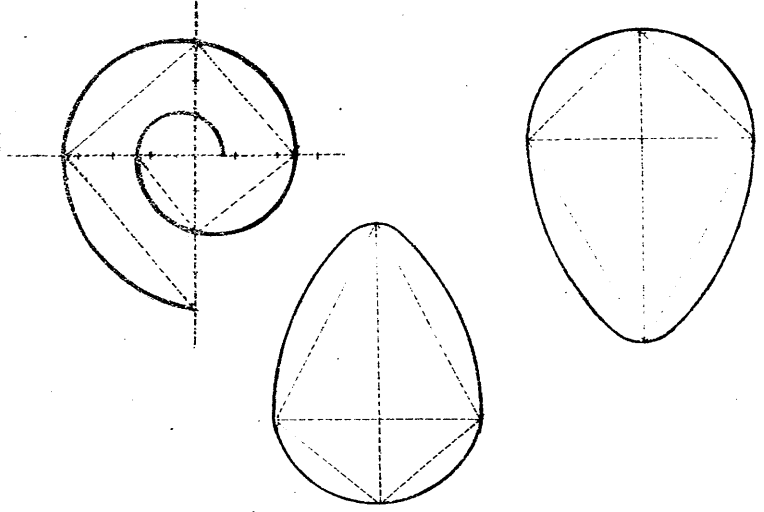


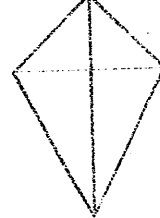
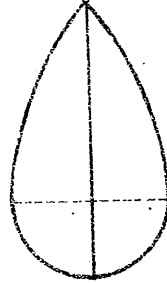
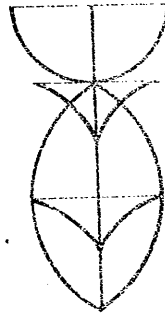
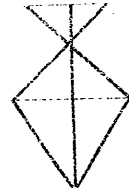
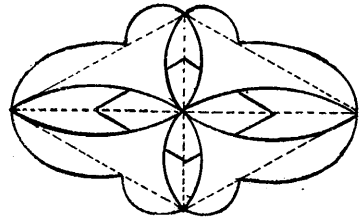
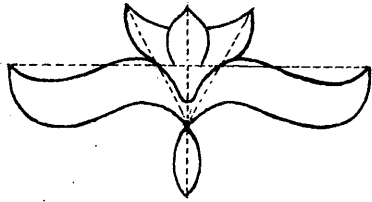
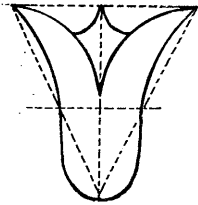
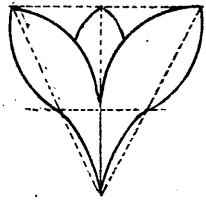
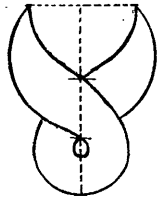
第二圖

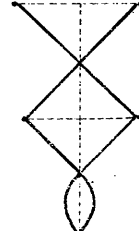
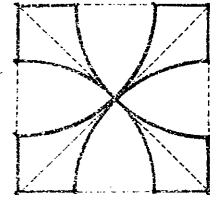
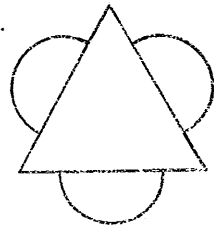
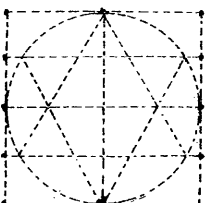
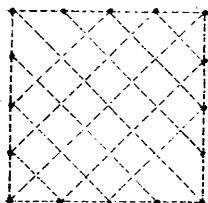
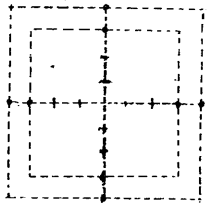
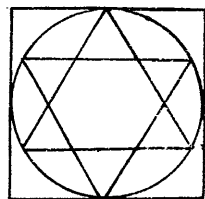
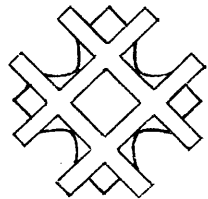
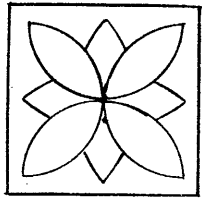




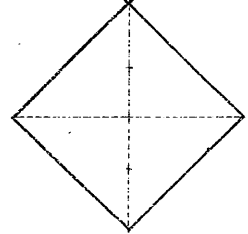
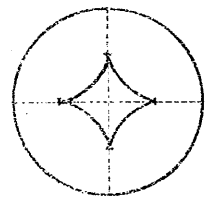
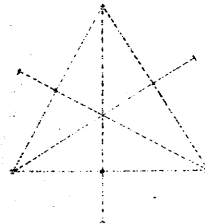
第三圖

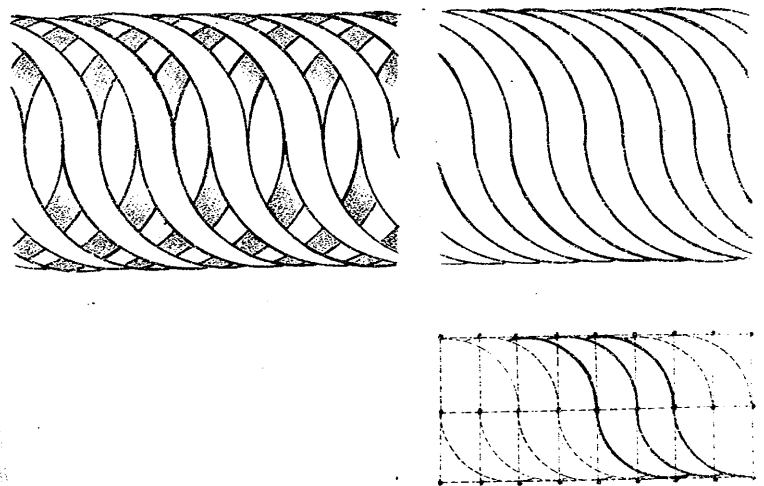






第四圖





明治十七年八月十二日醵刻御札 (定價銀六錢)

醵刻人 大阪府平民 真部武助

大阪南區長堀橋筋壹丁目
壹番地

專賣者 全 平民 梅原龜七

大阪備後町四丁目

全 平民 吉岡平助

全 所

全 京都府平民 杉本甚助

西京三條通寺町西へ入

全 大阪府平民 阪田一郎

奈良橋本附廿四番地

